

特別ラボ研修 海岸調査（児島 大畠周辺）

実施日：7月30日（水）7：30～11：10

場 所：大畠周辺の海岸（倉敷市大畠2丁目2）

講 師：洲脇 清 先生

特別ラボ研修の第3日目は、瀬戸内海の環境調査を実施した。最初に、干潮時刻8：31に合わせて、海岸調査に向かった。生息する生物を観察するとともに、指標生物による環境調査を行った。これは、「瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海研究会議」が行っている「瀬戸内海の海岸生物調査マニュアル」によって実施した。各班に別れ、カニ、小エビ、巻き貝、クラゲや海藻などの海岸生物を採取し観察した。海藻を茹でて色の変化を見たり、茹でたカメノテを希望者が実食したりした。その後、「瀬戸内海の環境変化」という内容で洲脇先生にご講義いただく予定であったが、カムチャツカ半島でM8.8の地震があり、倉敷地区に津波注意報が発令されたため、プログラムを中止し帰校した。



海岸実習の様子



海岸生物の採取



海岸生物の観察



洲脇先生から海岸生物の説明



海藻を熱湯に浸し色の変化を見る



カメノテの試食

＜生徒の感想から＞

- 浜辺の生態系の多様さが印象に残った。今までは意識してなかったが、フナムシ、コメツキガニなど本当に様々な種類の生物を見つめることができ、自然がより身近になった。
- 講義が受けられなくて残念だったが、海岸の実習が楽しかった。